

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSA-N-PO庚午教室 (児童発達支援)		公表日 令和7年 2月17日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	6	室内活動と戸外活動など、活動内容を分けたり、創作活動など人数を分けたりして工夫している。静養室を利用している。	利用定員10名であるが、利用されるお子さまとそこに支援員も入るため、スペースが狭いと感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	7	国の人員配置基準を満たすように人員配置を行っている。さらに利用人数によってプラスして人員配置を行っている。	日によって職員の人数にばらつきがあり、時に職員が少ないと感じる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	5	室内は段差などなく安全に配慮した構造になっている。不必要な物を置かず、整理整頓を心がけこどもが安全に過ごせるよう工夫している。	手すりなどは設置されておらず、バリアフリー化されていない。ワンフロアのため、こどもに分かりやすくするための工夫は必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	毎日、清掃・消毒を行い、清潔な空間を保てるようにしている。食事やおやつを食べる場所などは視覚的に分かりやすく区切ったりしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	静養室を利用し、SST等の個別活動やテンションコントロールが難しい場面で落ち着けるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	5	話し合った内容は書面などで全職員に共有するようにしている。	広く職員が参画している、とは言えない状況。決まった職員での話し合いになっている。働く時間の違いにより、全職員で集まるのが難しい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	改善していかなければいけない事を確認し、一つ一つ、できることから始めている。	保護者の方の意向などを把握する機会は設けているが、業務改善につなげることができていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	6	ミーティングと決まった時間で話し合うのではなく、日常的に話をするようにし、解決しなければいけない問題・課題について共通認識を持てるようにしている。	職員間でのミーティングの時間が確保しにくい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	6	第三者による外部評価については検討中。	第三者による外部評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	外部の研修に参加する機会を設けている。来年度からは法人内での研修について計画が進んでいる。	現在、法人内の研修ができていない。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1	ホームページ上に支援プログラムを公表している。	支援プログラムの作成について、全職員での話し合いができていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	丁寧にアセスメントを行い、寄り添うことができるようにできる限りのことをしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	児童発達支援管理責任者が職員に積極的に働きかけ、こどもの情報を収集し、全職員が共通理解を持てるようにしている。話し合いの場ではこどもの最善の利益を考慮している。	全職員で共通理解を持てているとは言えない状況。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2	職員間で統一した支援を行えるように、その日どのような活動を行い、どのようなことに気をつけるのかなど話をするようにしている。	職員一人一人は児童発達支援計画に沿って支援を行おうとしているが、職員間で共有して統一した支援を行っていないこともある。一人一人の職員がどこまで児童発達支援計画を理解しているか。どのようにして共通理解を持つか今後の課題。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	児童発達支援ガイドラインを確認し、児童発達支援計画を作成するようにしている。支援内容は具体的なものになるようにしている。	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3	社員、パートともに話し合いを行い、活動プログラムを考えるようにしている。広くみんなの意見を取り入れるようにしている。	全職員で話し合いを行う場がない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	「静」と「動」のバランスを考えながら活動プログラムを考えている。クッキングや工作なども曜日を固定しないようにするなど工夫している。	活動プログラムが固定されている部分はあるが、固定化する必要がある場合もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	活動内容を説明し、本人の意志を聞いたうえで参加してもらうようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	色々なツールを使い、支援内容や役割分担について伝えるようにしている。	打ち合わせについて「必ず」はできていない。できている時とできていない時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	6	支援終了後すぐには行えなくても、次の日などに振り返りを行うようにしている。	打ち合わせについて「必ず」はできていない。できている時とできていない時がある。決まった職員間で振り返りを行うようになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1	他の職員が書いた記録を読み、記録のとり方について確認するようにしている。	日々の支援について記録をとることは徹底している。記録のとり方が職員によってばらつきがあり、支援の検証につながらないことがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	3	6か月ごとに計画の見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	管理者、児童発達支援管理責任者が出席するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	相談員の方や保育園・幼稚園の先生方とは連携をとり、一緒に子どものことを考えていく体制ができている。	協力医療機関はあるが、実際に通院したりすることがなく、連携しているといえるのかどうか分からない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2	保育園や幼稚園でどのような対応をしているか直接、話をしたり、保護者の方を通じて話を聞いたり理解しようと努めている。	保育所や幼稚園とは情報共有は行っているが、支援内容などの相互理解とまではいっていないかもしれない。「インクルージョン推進の観点」からの支援と言われるとできていない状況。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2	まだ就学時の移行の件数が少ないが、情報共有をするようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	担当者会議などの際に助言をいただいたり、研修を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	4	できるだけ地域の公園で戸外活動を行うようにしたり、地域の行事に参加するようにしている。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流できる場を作ることができていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	丁寧に子どもの状況をお伝えする、また、保護者の方のお話に耳を傾けるようにしている。	できるだけ丁寧に子どもの状況をお伝えするようにはしているが、こちらから伝えるだけという一方向的になっている方もいる。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	ご家族の方がどのような研修の機会を望まれているのか、そのニーズの把握からはじめていく。	研修についての情報提供はおたよりの配布、という形で行っているが、家族支援プログラムや家族などの参加できる研修の機会を設けることはできていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	丁寧に説明するようにしているが、分かりやすい言葉を使用したり、保護者の方の疑問・不安がなくなるようにしている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	丁寧にアセスメントを行い、こどもや保護者の意思を尊重できるようにしている。今後は面談の機会を設け、より丁寧に思いを汲み取って行けるようにする。	しっかり面談をする、というところには至っておらず、今後課題。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	「児童発達支援計画」について、必ず保護者の方の同意を得るようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1	できるだけ丁寧に相談に応じるようにしている。	就労されている保護者の方など、話をする時間の確保が難しいこともある。相談については随時、対応しているが、面談の機会の確保についてできていないところがある。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8	今年度、はじめて親子イベントを開催し、保護者の方向士が交流する機会が少ないながら持つことができた。今後もイベントの開催や研修の機会を設けることによって、交流を図れるようにしていく。	父母の会、保護者会などがなく、保護者の方が交流する機会を設けることができていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	1	契約時の説明だけでなく、事業所内に体制について掲示したり、子ども達にも分かりやすく説明していくようにする。	保護者の方に対しては苦情があった場合の対応について契約時にご説明させていただいているが、こどもたちには説明できていない。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	個人情報に配慮しながら写真なども載せ通信を発行したり、行事予定も分かりやすくおたよりを配布しお知らせしている。	通信を発行したり、SNS（インスタ）を活用し情報の発信を行っている。HPに関しては現在ご利用の方に関しては有効な発信になっていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	鍵付きのキャビネットに入れる、シュレッダーにかけるなど個人情報の取り扱いについては十分に留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	直接話をする、アプリを利用するなど配慮している。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	4	地域の公園で遊ぶ、地域の行事に参加することで地域の方と触れ合う機会を作っている。	昨年の12月に「おもちゃ広場」という集会所で行っていた行事をやめており、事業所の行事に地域の方が参加する機会がなくなってしまった。どのような行事であれば地域の方が参加しやすいのか、検討課題。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	避難訓練実施日に利用していないこどもにも訓練の様子などを伝えるようにしていく。各マニュアルについて保護者の方に周知するよう配布準備中。	火災訓練は実施している。そのほかの災害を想定した避難訓練も実施予定。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	3	引き続き、机上訓練を行う。地域で開催されている研修や訓練にも参加するようにする。	机上訓練しかできていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	服薬やてんかん発作などについては、アセスメント時に詳しく確認するようしており、職員間で情報共有している。	予防接種の状況については確認していなかった。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	医師の指示書もいただいているが、どのように対応していくか保護者の方としっかり話をし、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	2	安全計画を作成し、安全管理の徹底に努めている。色々な場面を想定した訓練を行っていき、職員一人一人の安全に関する意識を高めていく。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2	ご家族の方へ取組内容について知っていただけるよう情報を提供、周知していく。	取組内容について周知できていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	ヒヤリハットについてはすぐに記録を作成し、全職員に情報共有するようにしている。再発防止についても話し合いを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	職員が外部の研修に参加する機会を作ったり、研修参加後、伝達研修という形で他の職員も勉強する機会を作っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	児童発達支援計画に記載するようにしている。	